

# 現場の学び成長力に

主に建設機械向け部品の板金加工を手掛ける栄和産業(綾瀬市)は、高度な深絞りの技術と多品種少量生産が強い。業績を伸ばす一方、社員の国籍、性別、年齢障害の有無を問わない「ダイバーシティ(多様性)経営」の実践企業としても注目を集めている。多様な成長力にしているのは、現場での学びを重視する伊藤正貴社長の経営方針にある。(吉田 勝行)

## 栄和産業(綾瀬市)

同社の社員数は10月現在155人。うち外国人39人、障害者10人。後進の育成を担う65歳以上は13人で、最年長は79歳。伊藤社長は「いろいろなことに向き合いつつやっていたら、ダイバーシティになっていた」という。

「人を集める努力も大事だが、離職しないようにするのでも大事」として、①礼節(人間性)②安定感(自己管理)③向上心(技術力の向上)の順に評価するようになった。「休まず出社し、きちんとあいさつしていれば先輩にもかわいがられる」。結果、定着率は上がり、技術力も向上したという。



## 挑む 中小企業

「昨日まで高校生だった子が社会人になってすぐ活躍

## 最優秀に24チーム

### 神奈川産学 横浜で表彰式

企業が示す経営課題に対し、大学生が解決策を示すコンペ「神奈川産学チャレンジプログラム」の表彰式が17日、横浜市西区のパシフィコ横浜で開かれた。神奈川経済同友会の主催で、今年で16回目。入賞チームの学生や企業関係者約500人が参加した。

産学連携で人材育成を促進する取り組みで、同友会

が一期待たれたが、優勝した文京大学のチーム

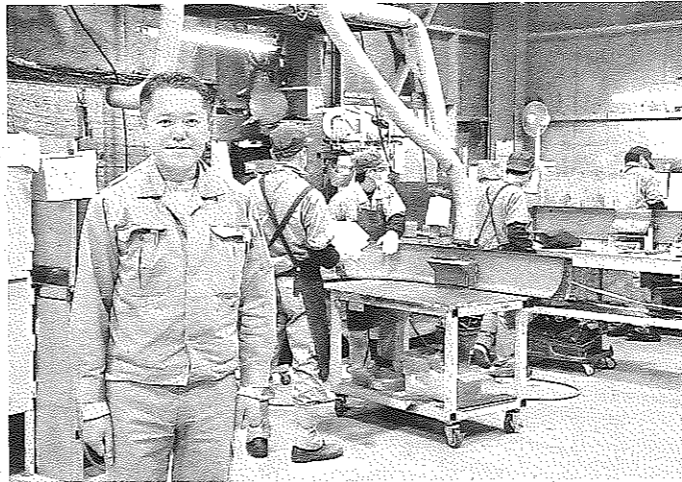


文京大学のチームが最優秀賞を受賞した。パシフィコ横浜会議センター

が一期待たれたが、優勝した文京大学のチーム

者の社会での活躍を期待している」とあいさつ。横浜

## ダイバーシティ経営を実践



学びを通じて多様な社員を伸ばす伊藤社長。栄和産業・吉岡第5工場

現場では、技術を伝承できるようにベテラン・中堅・若手のバランスを考えて配置。高齢の社員は孫に仕事を教えているみたいで楽しい。自由参加の早朝勉強会、管理職以上を対象にワーカーマで10分間の勉強

現場では、技術を伝承できるようにベテラン・中堅・若手のバランスを考えて配置。高齢の社員は孫に仕事を教えているみたいで楽しい。自由参加の早朝勉強会、管理職以上を対象にワーカーマで10分間の勉強

延べ64人。2016年に入社した知的障害のある男性は、一人前の溶接技術者として活躍し、「障がい者雇用という概念をなくしてくれた」と伊藤社長。分け隔てなく働き、障害者の先輩が健常者の後輩に仕事を教えるのも「さらさら」という。

外国人雇用は33年前、人手不足もあり、2人のカンボジア人難民を採用。その2人を頼ってカンボジア人が次第に集まり、「クビにならなければ働きたい」という人が増え、最初に入社したうちの1人は、役員を務めている。

「会社の成長は人の成長と連動している。手探りながら手応えはつかんではないが、伊藤社長。「確かに社員教育の間は製造していないが、そこでの気付きが改善のきっかけになるかもしれない。みんなできり上げた学びの企業風土は無駄にはならない」と話している。

セブン組織改編 現場社員千人減 店舗支援で配置転換

セブンの店舗指導を担当する現場社員について、現状の約3千人から約千人減らす組織改編を検討していることが17日分かった。オーナーの業務代行など店舗支援を担う部署に配置転換する方向で、既存店の人手不足を補うのが狙いとみられる。早ければ来年3月にも着手する見通しだ。

同社全体の社員数は約9千人で、現場社員が3分の1程度を占める。コンビニ本部の意向を店舗に伝え、統一した店づくりを担うフランチャイズ経営の要の職とされるが、店舗での無断発注が問題化していた。現場社員の一部からは「不当な異動で退職させ、人件費を削減するのが目的だ」と反発が出始めている。

セブンを巡っては、24時間営業問題の対応不備やおでんなどの無断発注が相次いで発覚し、新卒の内定辞退や社員の退職が深刻化している。人員配置を見直して組織体制を維持する考えもありそうだ。現場社員はOFC(オペレーション・フィールド・カウンセラー

◆栄和産業 1974年設立。資本金2300万円。従業員155人。綾瀬市吉岡東4の15の5。☎0467(7)0878。

## 来年7月15日 改装オープン

### 箱根・富士屋ホテル

耐震補強工事などのため休館中の富士屋ホテル(箱根町宮ノ下)は17日、14年目の創業記念日に当たる2020年7月15日にグランドオープンすると発表した。これに先立って同年1月1日午前10時から宿泊

(佐藤 浩幸)

## 情報スポット

●お正月向け絵柄のキャンディー キャンディーショップ「papabubble(パパブブル)」は26日から、正月向け商品を横浜馬車道店、横浜道楽店、横浜マーク店など全店で販売する。紙幣の絵や硬貨をモチーフにした「お年玉ミックスキャンディ」、来年の干支(えと)「子(ね)」にちなみネズミの絵や2020の文字を入れた「お正月ミックスキャンディ」の2商品。価格はいずれも、袋(40粒入り)640円、瓶(50粒入り)880円。問い合わせは、同社☎03(5942)5330。

## ●すみっこぐらし×けいさくうコラボグッズ

京急ストア(横浜市西区)は21日から、鉄道玩具プラレールの「京急新100形 KEIKYU TRAD TRAIN すみっこぐらし号」=イメージ=を6千個限定販売する。来年1月26日まで運行している人気キャラクター「すみっこぐらし」のラッピング電車をプラレールにした商品。価格は3千円。また、つり下げタオル(1200円)バスタオル2種(各2300円)、スマートフォンカバー(2300円)などのすみっこぐらしとのコラボレーション商品も数量限定で販売する。販売場所など詳細は同社ホームページ。

年1月26日まで運行している人気キャラクター「すみっこぐらし」のラッピング電車をプラレールにした商品。価格は3千円。また、つり下げタオル(1200円)バスタオル2種(各2300円)、スマートフォンカバー(2300円)などのすみっこぐらしとのコラボレーション商品も数量限定で販売する。販売場所など詳細は同社ホームページ。

## ●3列シートの新型SUV

ゼネラルモーターズ・ジャパンは3列シートの新型スポーツタイプ多目的車(SUV)「キヤデラックXT6 プラチナム」を来年1月1日に発売する。シートに本革を使用した上質な内装で、6人がゆったり座れる。メーカー希望小売価格は870万円。問い合わせは、通話無料のGMジャパン・カスタマーセンター☎(0120)711276。

## ●カリンのエキス入り飲料

タマノイ酢(堺市)は、のどあめに使われるカリンのエキスが入った飲料「まるでどあめ」を発売した。ゴキウ酢とビタミンC、食物繊維も配合。はちみつリンゴ味で、のどの乾燥や荒れが気になる時に適しているという。125ミリ入りで、店頭参考価格は138円。問い合わせは、通話無料のお客相談窓口☎(0120)334104。